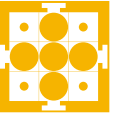




特別  
企画展

# みてみて！ 仏像のポーズ



## 手足が語る「みほとけと立山」……

会期 二〇一三年 七月十五日(土)～九月三日(日)



仏像の不思議な

手の形、持ち物、坐り方……

その姿に信仰の世界が見えてくる



【銅造阿彌陀如来立像】



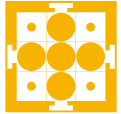
【木造不動明王坐像】



【鉄造如意輪観世音菩薩坐像】



# 富山県「立山博物館」



【開館時間】午前九時三〇分～午後五時まで（入館は午後四時三〇分まで）

【観覧料】一般二〇〇円「大学生」一〇〇円 高校生以下の児童・生徒・障がい者等の観覧料は無料です。  
学校教育・社会教育で利用する児童・生徒の引率者の観覧料は申請により無料となります。



# みてみて！ 仏像のポーズ

令和5年度前期特別企画展

手足が語る“みほとけと立山”



木造帝釈天立像(当館寄託)

こんなにちがうのに  
たいしゃくてん  
同じ帝釈天!?



銅造帝釈天立像  
(重要文化財、当館蔵)



鉄造如意輪観世音菩薩坐像  
(富山市指定文化財、富山市・円隆寺蔵)

“立むざ”は  
きょうぎ  
お行儀が悪い!?

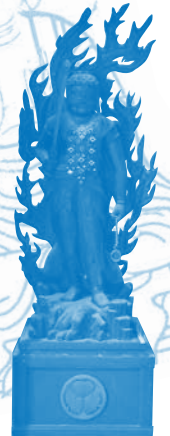


木造娑尊坐像  
(富山県指定文化財、芦峯寺閻魔堂蔵)

初公開の資料も!



阿弥陀三尊来迎図  
(富山市・常楽寺蔵)



木造不動明王立像  
(上市町・日石寺蔵)

仏像には様々なポーズのものがありますが、不思議に思ったことはありませんか。実は、このような仏像のポーズには意味があり、手や足をじっくり観察することで、像を造った人びとの祈りや、像がたどってきた歴史をうかがい知ることができるのです。

本企画展では、立山信仰の世界に登場する仏さまたちの手足に着目！仏さまのポーズを通じて、仏像や仏教にあまり親しみのない方や、お子さんにも楽しんでいただけるよう、やさしくみほとけと立山の関わりを紹介します。

当館おなじみの仏像に加え、天徳院ゆかりの寺院に伝わる三つ葉葵の紋が入った「木造不動明王立像」（日石寺蔵）や、新出資料の「阿弥陀三尊来迎図」（常楽寺蔵）など、初公開の資料も見どころです。

ポーズの意味を知ると、またちがった仏像の魅力に気づくかもしれません。

## 【関連イベント】

### ○ギャラリートーク

「仏像の種類、印相、坐勢についての基礎知識—日本仏像史入門—」

講師：三宮 千佳氏（富山大学芸術文化学部 准教授）

日時：8月5日（土）14：00～15：00

会場：展示館1階 企画展示室内

※事前申込不要、参加には本企画展チケットが必要です。

### ○担当学芸員解説会

7月15日（土）、8月12日（土）、8月26日（土）

各日 14：00～

### 【会期中の休館日】

月曜日（ただし、8/14は開館）、7/18（火）

会場：富山県 [立山博物館] 展示館1階 企画展示室

主催：富山県 [立山博物館]

共催：北日本新聞社

後援：北日本放送、チューリップテレビ、富山テレビ放送、NHK 富山放送局、Net3

## 【その他の主な展示資料】

- ・鉄造阿弥陀如来坐像（黒部市・辻徳法寺蔵）
- ・立山曼荼羅 称名庵本（重要有形民俗文化財、当館蔵）
- ・勅封二臂如意輪観世音菩薩坐像（射水市・光明寺蔵）
- ・絹本著色十二天図（長谷川信春筆、帝釈天の幅）（複製、羽咋市・正覚院蔵）
- ・石造地藏菩薩坐像〈室堂安置〉（個人蔵）
- ・立山曼荼羅 吉祥坊本（重要有形民俗文化財、当館蔵）
- ・十巻鈔（西尾市岩瀬文庫蔵）
- ・明治増補 諸宗仏像図彙（富山県立図書館蔵）

## 富山県 [立山博物館]

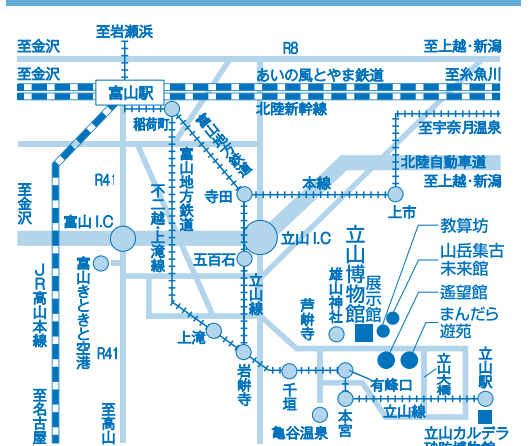
〒930-1406 富山県中新川郡立山町芦峯寺93-1

電話076-481-1216 FAX076-481-1144

https://www.pref.toyama.jp/1739/miryokukankou/bunka/bunkazai/home/index.html



## 交通案内



【電車の場合】富山地方鉄道立山線「千垣駅」下車後、徒歩（約2km）

※日曜日を除き、千垣駅から町営バス運行

【車の場合】JR富山駅から約45分／富山地方鉄道「立山駅」から約15分  
北陸自動車道「富山IC」から約35分／「立山IC」から約30分